第 2 0 期 決 算 公 告

2019年6月28日

東京都中央区京橋2-9-2 日立物流ファインネクスト株式会社 代表取締役社長 細貝 弘幸

<u>貸</u> <u>借</u> <u>対</u> 照 (2019年3月31日現在) 表

(畄位・壬田)

			(単位:千円)
科目	金額	科目	金額
【資産の部】		【負債の部】	
流 動 資 産	5, 275, 611	流 動 負 債	5, 318, 668
受 取 手 刑	8, 572	買掛金	3, 959, 176
売 掛 金	2, 738, 271	1年以内返済予定の関係会社 長期借入金	166, 666
原材料及び貯蔵品	3, 182	リース債務	32, 521
前 払 費 月	58, 945	未 払 金	321, 407
未 収 入 金	21, 755	未 払 費 用	530, 372
預ける金	2, 443, 554	未払法人税等	145, 284
そ の 他	1,330	未払消費税等	117, 331
		前 受 金	28, 116
		預り金	11, 905
固 定 資 産	5, 704, 554	そ の 他	5, 885
有 形 固 定 資 産	5, 187, 401	固 定 負 債	2, 589, 763
建 物	2, 019, 485	関係会社長期借入金	1, 993, 336
構築物	187, 444	預 り 保 証 金	561
機械及び装置	11, 403	リース債務	174, 477
車 両 運 搬 具	0	退職給付引当金	276, 910
工具、器具及び備品	15, 432	役員退職慰労引当金	16, 200
土	2, 746, 502	資 産 除 去 債 務	128, 278
リース 資産	207, 133	負 債 合 計	7, 908, 432
無形固定資産	36, 507	【純資産の部】	
ソフトウエア	36, 382	株 主 資 本	3, 071, 733
そ の 他	125	資 本 金	300,000
投資その他の資産	480, 644	利 益 剰 余 金	2, 771, 733
長期前払費用	4, 996	利 益 準 備 金	75,000
繰 延 税 金 資 産	248, 700	その他利益剰余金	2, 696, 733
差入保証金	226, 948	繰越利益剰余金	2, 696, 733
		純 資 産 合 計	3, 071, 733
資 産 合 ま	10, 980, 165	負 債 純 資 産 合 計	10, 980, 165

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

損 益 計 算 書

自 2018年4月 1日 至 2019年3月31日

(単位:千円)

科目		金	(単位:十円)_ 額
売 上	高		22, 405, 585
売上原	価		20, 992, 396
売 上 総 利	益		1, 413, 189
販売費及び一般管理	費		768, 149
営業利	益		645, 040
営 業 外 収	益		
受 取 利	息	19	
保険事務手数	料	1,090	
仕 入 割	引	3, 121	
障害者雇用調整	金	702	
有 価 物 売 却	料	465	
その	他	118	5, 515
営 業 外 費	用		
支 払 利	息	17, 145	
その	他	56	17, 201
経常利	益		633, 354
特 別 利	益		
固定資産売却	益	0	0
特 別 損	失		
固定資産処分	損	276	
子会社清算費	用	466	
災害損	失	1,400	
電話回線減損戻	入	△ 40	
過年度損益修正	損	35	2, 138
税引前当期純利	益		631, 216
法人税、住民税及び事業		224, 167	·
法人税等調整	額	△ 15, 609	208, 558
当期純利	益	,	422, 658

⁽注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

個 別 注 記 表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

- 1. 資産の評価基準及び評価方法
 - (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券

(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は

移動平均法により算定)

… 償却原価法

(時価のないもの) ………………………… 移動平均法に基づく原価法

2. 固定資産の減価償却の方法

- (1) 有形固定資産(リース資産を除く) ----- 定額法
- (2) 無形固定資産 (リース資産を除く) 定額法
- (3) リース資産

所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

"リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法なお、所有権移転外ファイナンス・リース取引のうちリース取引開始日が2008年3月31日以前のリース取引については通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

- 3. 引当金の計上基準
 - (1) 貸倒引当金

期末債権の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上することとしております。

(2) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき当事業年度末において発生していると認められる額を計上しております。

(3) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づき期末要支給額を計上しております。

4. 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

5. 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当事業年度から 適用しております。